

沖縄観光推進ロードマップ

観光収入1兆円、観光客数1千万人を目指して

県では、「世界水準の観光リゾート地」の実現にむけて、今後も増加が見込まれる観光客を円滑に受け入れ、観光収入の増大と観光産業の更なる発展に繋げるための戦略となる「沖縄観光推進ロードマップ」を策定し、官民の関係機関等と一体となって中長期的・段階的に観光施策を展開していきます。

1 沖縄観光推進ロードマップの目的

県では、第5次沖縄県観光振興基本計画で、平成33年度の数値目標を「観光収入1兆円」、「入域観光客数1千万人」と掲げています。

この数値目標を達成するため、引き続き誘客活動に積極的に取り組むとともに、受入体制を着実に整えていく必要があります。

年度毎の誘客目標等を可能な限り国や市場別に設定するとともに、空港、港湾、陸上交通の交通インフラや、宿泊機能、観光施設、観光人材等の受入体制の課題を明らかにし、関係機関と連携して必要な施策を計画的に推進するため、「沖縄観光推進ロードマップ」(以下、「ロードマップ」と記載)を策定します。

2 沖縄観光の現状

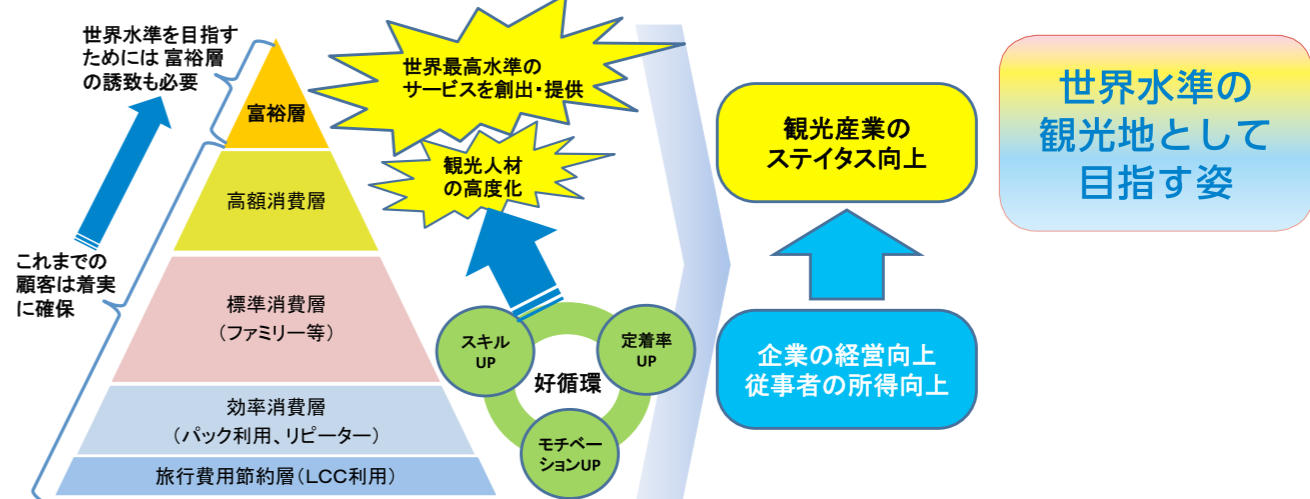
沖縄観光は、これまでの国内ファミリー層を中心としたビーチリゾートだけでなく、LCCの就航などにより、若年者や旅行費用を節約する層等へ顧客層が広がりをみせています。

また、円安が進み、外国人が日本への旅行に割安感を感じるようになるなどの経済的な要因や、県

内関係者の一体となった誘客プロモーション効果により、外国人観光客は年々拡大しつつあります。観光収入1兆円や観光客数1千万人の達成のためには、これまで沖縄に訪れた観光客が「これからも沖縄に訪れたい」と思わせるような観光地を形成するための施策を展開するとともに、外国人を含めた新たな客層の誘客が必要になります。

3 沖縄が目指す「世界水準の観光リゾート地」に向けた取組

今後は、引き続き増加が期待できるアジア圏の観光客や、旅行文化が成熟している欧米等の観光客、富裕層の受け入れにも積極的に取り組み、付加価値の高いサービスなどを提供することにより、特定の市場に偏らないバランスの取れた国際観光地を目指していきます。そして、世界水準のサービスを提供できる高度な観光人材の育成と、その人材が存分に活躍できる場を創り出すことにより、観光関連の業務に従事する人のモチベーション向上、スキルアップなどの好循環を生み出し、観光産業のステイタス向上につなげていきます。そのためには、質の高いサービスの提供や滞在日数を伸ばしてい



くことにより、観光客1人当たり消費額を増加させ、観光収入の増大を図る必要があります。

4 観光客の受入体制の構築

さらに、目標を達成するためには、観光客を受け入れる玄関口となる空港や港湾の機能の向上、県内移動のためのバス・タクシー・レンタカー・モノレールなどの2次交通網の整備、ホテルなど宿泊機能の強化、消費額向上のための商品・サービス展開、人材育成など、受入体制の強化を戦略的に図っていく必要があります。

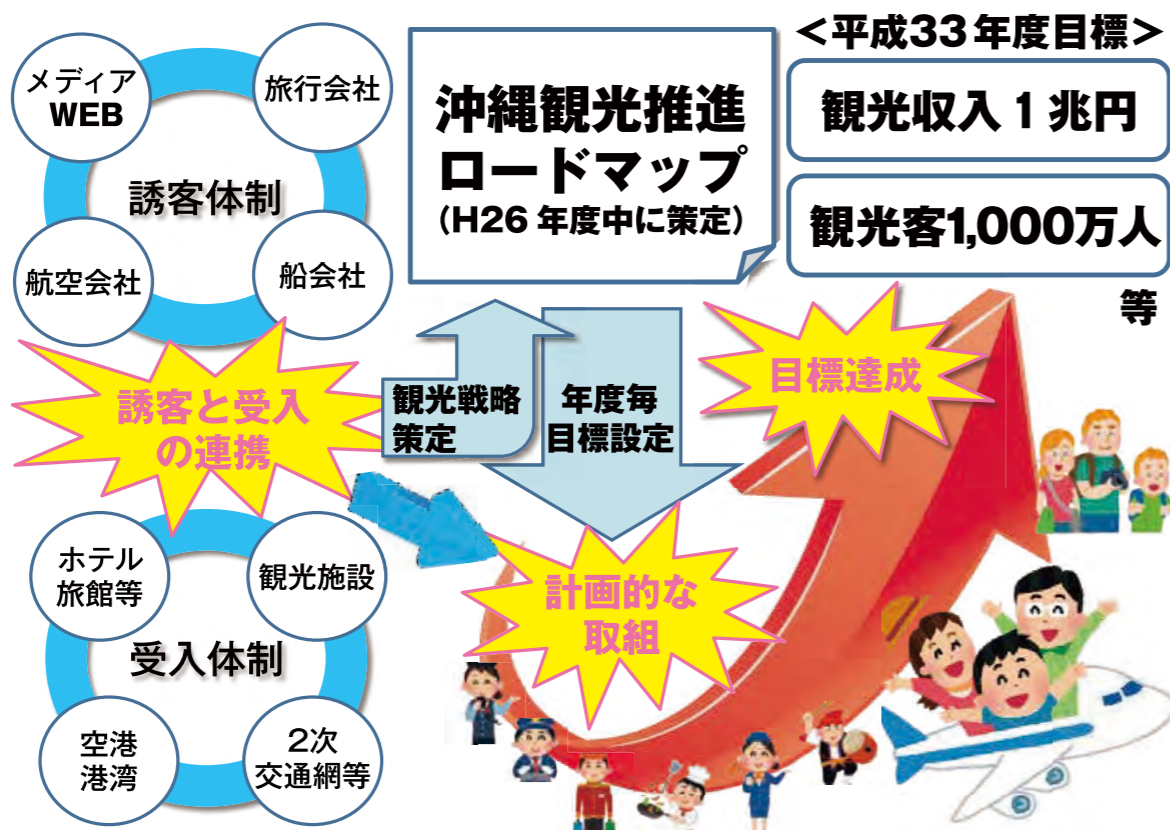
県では様々な関係機関と連携して、観光客の受入体制の充実に努めます。

5 まとめ

～ロードマップ策定後の展望について～

県は、このロードマップを基に、これまで以上に関係機関と緊密に連携し、官民一体となって目標に向けた施策を効果的に展開し、「世界水準の観光リゾート地」の実現に向け、着実に取り組んでいきます。

沖縄観光推進ロードマップの概要イメージ



お問い合わせ 県観光政策課 電話：098-866-2763 FAX：098-866-2767